

令和6年度決算について

令和6年度における予算編成に当たっては、厳しい財政環境にあって予算の圧縮に努めることを基本とし、各種経費の見直しを図るなど財政健全化に努めながら、地域住民の安全・安心な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、下記の重点施策を考慮し、事業の必要性、効率性、緊急性等を総合的に勘案しながら、限られた財源を効果的・効率的に配分するよう予算編成したところです。

【重点施策】

- ・消防体制の充実強化
- ・救急業務高度化への対応及び救急需要への対策
- ・火災予防体制の積極的推進
- ・消防団の充実及び地域防災力の強化等への取組

1 予算及び補正の状況

当初予算総額の規模は2,986,500千円でしたが、総額36,571千円の増額補正を行った結果、最終歳入歳出予算総額は3,023,071千円となり、当初予算比1.2%増となりました。

補正予算については、消防施設整備事業として置戸指揮車整備費のほか、寄附金を財源とした感染症対策資器材の購入経費や人事院勧告に伴う人件費の増額が主なものです。

2 決算及び収支

一般会計歳入歳出決算総額は次のとおりです。

歳入	3,023,833,878 円
歳出	2,963,171,799 円
歳入歳出差引	60,662,079 円

これを前年度と比較すると、歳入では4.1%の減、歳出では3.5%の減となりました。

3 主な事業

令和6年度の主な事業といたしましては、消防署東出張所に女性専用施設を整備、高規格救急自動車や水槽付消防ポンプ自動車の整備、消防署常呂支署サイレン吹鳴装置の更新及び消火栓の新設など消防体制の充実強化を図ったところであります。

また、救急業務高度化への対応及び救急需要への対策として、感染症対策資器材の整備や高度救命処置訓練人形の更新、さらに、通信施設整備事業として令和7年度着工の消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備更新の実施設計を行ったところであります。

今後も、複雑多様化する災害と住民ニーズを的確に把握し、消防体制の維持に万全を期し、地域住民の安全・安心な生活と災害に強いまちづくりの実現に向け、消防行政を進めて参ります。

令和6年度北見地区消防組合決算

(単位:千円)

	予算現額	収入済額	予算比%	支出済額	執行率%
一般会計	3,023,071	3,023,833	100.03%	2,963,171	98.02%

令和6年度一般会計歳入予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	収入済額	予算比	構成比
分担金及び負担金	2,824,658	2,824,658	100.0	93.4
使用料及び手数料	1,000	888	88.8	0.0
国庫支出金	21,232	21,232	100.0	0.7
寄附金	510	500	98.0	0.0
繰越金	81,398	81,398	100.0	2.7
諸収入	16,673	17,657	105.9	0.6
消防組合債	77,600	77,500	99.9	2.6
計	3,023,071	3,023,833	100.0	100.0

令和6年度一般会計歳出予算構成比

(単位:千円、%)

区分	予算現額	支出済額	執行率	構成比
議会費	3,049	2,304	75.6	0.2
総務費	303,703	297,226	97.9	10.0
消防費	2,365,107	2,317,813	98.0	78.1
公債費	344,664	344,661	99.9	11.6
予備費	5,381	0	0.0	0.0
諸支出金	1,167	1,167	100.0	0.1
計	3,023,071	2,963,171	98.0	100.0